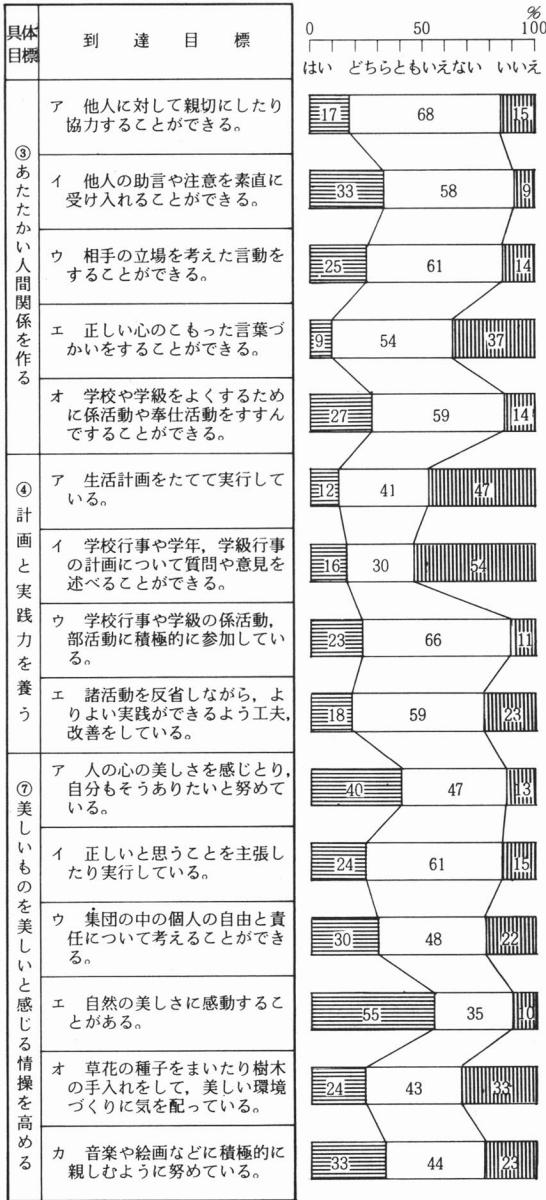


③ 到達目標の策定と第一回自己評価
(対生徒 8月10日実施)



▷考察◁ 係活動や奉仕活動には消極的で、他人に対する親切とか協力する意識も低く、自己本位な生活がみられる。また、無計画で、ゆきあたりばったりな生活をしているものも多い。各種行事等の計画や参加についても、自主的に参加し、積極的に意見を述べたりするものも少ない。

美しいものを美しいと感じるのが人間である。

心の余裕とか環境づくりに無関心な生徒が多いことは、形式的なものでなく、もっと、実践のともなった指導を徹底する必要がある。

(3) 学年協議会の組織

同学年の生徒が、当該学年の教師とともに、共通の意識のもとに、積極的に学校や学年の行事に参加し、自主的な活動の展開をはかることにより、学年目標の具現化をめざすことをねらいとする。

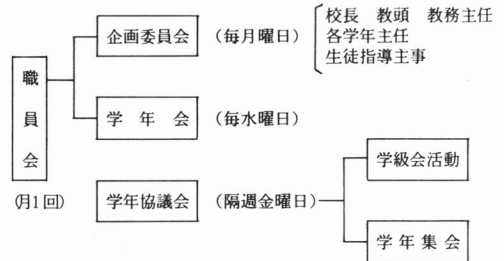
ここでは、担当教師の指導のもとに、学校や学年、そして生徒会活動における諸行事についての意義や参加、また、学校や学級の生活上の諸問題についても話し合い、学級での取り組みや反省と対策についても考えさせ、実践への指針とする。

あわせて、「創意を生かした教育活動」の一環として行われている「学年集会」の運営についても、教育目標の具現化がはかれるよう、その計画の立案にはじゅうぶんに配慮する。

① その構成 (構成員 14名)

- ・各学級の学級委員 2名 (6クラス)
- ・指導担当教師 2名 (含学年主任)

② その位置づけ



③ 協議の内容

- ア 学校、学年行事の取り組みについて(企画・運営)
- イ 学校や学年、学級の諸問題について(反省・対策)
- ウ 学年集会の運営について (企画・分担)
- エ 生徒会活動への取り組みについて

(積極的な奉仕部活動)

オ その他学校生活に関することについて

(4) 教育目標の具現化を意図した行事と

その具体目標

学校や学年の行事を通して教育目標の具現化をはかるため、次の三つの行事に重点を絞る、学年協議会はもとより、学級においても意図的に指導を試みることにした。